

機感を高く「木材を扱う、われわれに」とって安心できる。多数の来賓を代表し、

ついて適正化の必要性を訴えた。その後、大竹理事長を議長に選出して議事が進行。2024年度事業報告や本年度事業計画案などが審議され、いずれも多くの拍手をもって承認された。本年度は「将来の飛躍のために、信念をもって力を蓄える年」と位置付け、品質維持向上の契約

の管理強化、人材確保・人材育成の構造変化への対応、業界の将来像を見据えた取り組みを基軸に各種事業を進めていく。なお、総会終了後には役員・優秀従業員表彰が行われ、役員表彰1人、従業員表彰5人へそれぞれ表彰状と記念品が贈られた。

落札率は78%に

県森連

群馬県森林組合連合会は21日に開催した其販市における市況をまとめた。出品量は326・757㎡、販売量は254・598㎡で落札率は77・9%。入札参加者は17人となった。県森連は「杉3・0m柱材は完売となったが、若干値下げとなった。杉3・0m中目材は、若干

力配を占める大太材がなかった。杉4・0m中目材は、若干値下げ。杉4・0m尺上材は、保合いとなったが、依然として高値で取り引きされている。入荷量は、増加傾向だが、杉4・0m30cm上材が極端に少ないので、少しでも多くの出荷のご協力をお願いしたい。また、虫害が出ている丸太が多くなっている。伐採後は早めの出荷を」と呼び掛けた。

選任された新役員



清水代表理事

群馬県フロン回収事業協会(清水英樹代表理事)は22日、ホテルメトロポリタン高崎で第22回通常総会を開催した。委任状97人、会場27人、計124人が出席し、2025年度事業計画案など全議案を承認した。

地球環境保全に貢献 通常総会開催し慎重審議

リタン高崎で第22回通常総会を開催した。委任状97人、会場27人、計124人が出席し、2025年度事業計画案など全議案を承認した。

清水代表理事は「創立以来、年々会員が増えており、3月までに163社に至っている。昨年4月からフロン再生に方針転換し1年が経過した。24年度に、地区管理センターで引き取りしたフロン類の総量は約35tで、70%以上が再生処理された。再生処理されたフロン類は、高い水準となった。このような成果は、広く注

目を集めている。引き続き、再生処理に力を注ぎ、地球環境の保全と資源の有効活用に貢献していきたいと考えている」とあいさつした。議事に入り、24年度収支決算や25年度事業計画などの議案を原案通り承認した。25年度は、冷媒フロン類の確実な回収と適正な再生および破壊処理の実施、冷媒フロン類の漏洩防止と大気放出の抑制などに取り組むとしている。

来賓の紹介後、県森林環境部の畠中一彦環境保全課長が永井浩二部長の祝辞を代読。また群馬県機械設備工業会の和田弘理事長が祝辞を寄せた。さらに、群馬大学の西園大実名誉教授はフロン回収の動向をテーマに、資料を用いて解説を行った。

施設

中小企業団体中央会の大澤伸一郎専務理事が「日ごろから、社会資本整備に尽力いただき感謝申し上げます」とお礼の言葉を述べ、組合顧問を務める狩野浩志県議員は「各種事業を通じて、安心安全確保にご貢献いただき感謝を申し上げます」と話した。



総会では全議案が承認された

25年度の事業計画には清掃・点検作業ボランティアなどの社会貢献事業の実施や広報活動等を盛り込んだ。新役員は次の通り。(敬称略) 藤岡市は入札契約制度における最低制限価格について、事前公表に変更する方針を示した。実施時期などの詳細はこれから立ち上げる再発防止検査委員会が協議している。

詳細は委員会で検討

最低制限価格事前公表へ

藤岡市は入札契約制度における最低制限価格について、事前公表に変更する方針を示した。実施時期などの詳細はこれから立ち上げる再発防止検査委員会が協議している。

対象とするかなどについて協議を行う。なお、市では2009年度から最低制限価格について事後公表を行っている。

購読申込みは
前橋支局まで
0271-210182600

その日の入札情報を毎日メールで配信

速報メール

その日に公表された入札を「予定」「公告」「結果」の3分割にして、その日の夜に配信いたします。配信データはExcel形式なので、貴社の必要な発注者や工種、応札者などを簡単に検索できます。また、必要なデータのみで簡単に作表ができます。保存データや営業資料等としてお役立てください。

無料体験

ご希望のメールアドレスにその日の入札データを2週間配信いたしますので、ご検討ください！



速報メール無料お試し申込書

フリガナ	
貴社名	
所在地	〒